

みち、ひと…未来へ。



ぶらり東讃道

2019年度
完成号
(vol.25)

E11高松自動車道4車線化情報紙

4車線化の目的

交通渋滞の解消

交通事故の減少

通行止日数の削減

災害に強い道路



ぶらり東讃道

高松自動車道4車線化情報紙

発行目的

高松自動車道4車線化工事の進捗状況や工事のための一般道路等の通行規制などを広くお知らせしていくことを目的としています。

設置場所

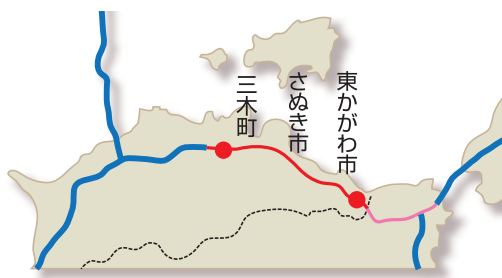
NEXCO西日本四国支社管内並びに与島・淡路・淡路島南のサービスエリア・パーキングエリア、京都・大阪・神戸・高松の主要高速バスターミナル、四国の道の駅

配布エリア

東かがわ市、さぬき市、三木町にお住まいの約4万2000世帯

発行時期

四半期に1回、季節毎に発行



メッセージ

四国の振興発展に期待

高松自動車道が全線において4車線化されましたことを心からお慶び申し上げますとともに、これまでご尽力いただいた関係の皆様方に深く感謝いたします。

高松自動車道は、平成十五年の全線開通以来、四国の産業・経済を支える大動脈として、非常に重要な役割を果たしていますが、暫定2車線の区間では、ゴールデンウィークなどの大渋滞や正面衝突等の重大な交通事故が発生していたため、これらの課題を抜本的に解決する4車線化が強く求められてきました。

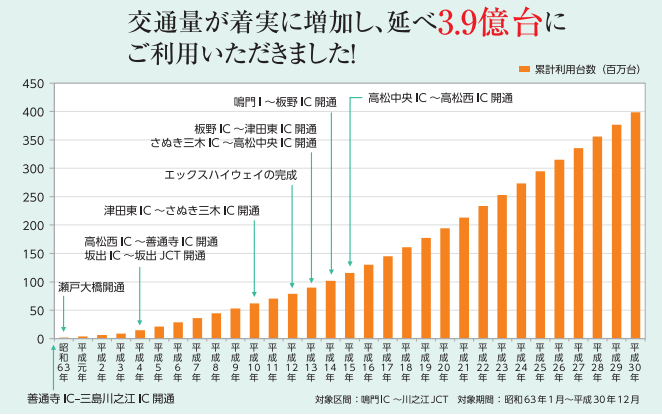
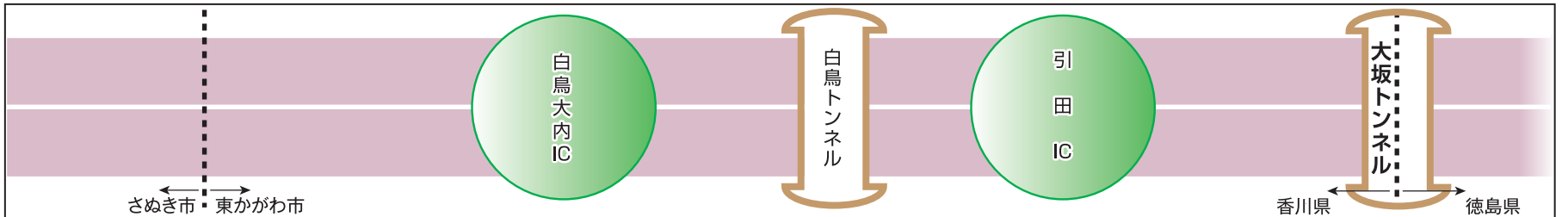
全線4車線となった高松自動車道は、輸送能力の向上と移動時間の短縮が図られ、社会基盤としての機能が飛躍的に強化されます。

物流の効率化による生産性の向上や県産品の販路拡大といった経済面における効果のほか、今後30年以内の発生確率が70%から80%とされている南海トラフを震源とする地震をはじめとした災害時に、緊急輸送路として救助・救援活動を支えるなど、防災面における効果や、交流人口の拡大、安全で快適な交通環境の提供など、多大な効果がもたらされるものと期待しています。



香川県知事
浜田 恵造

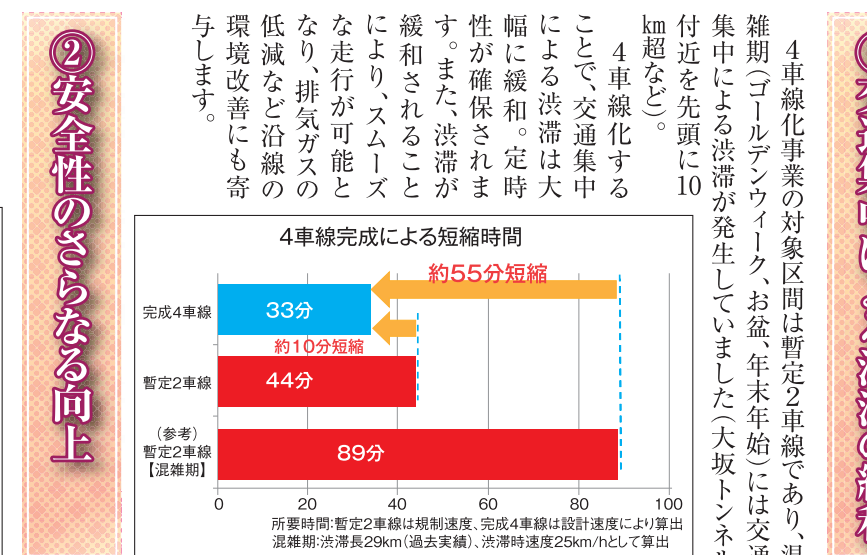
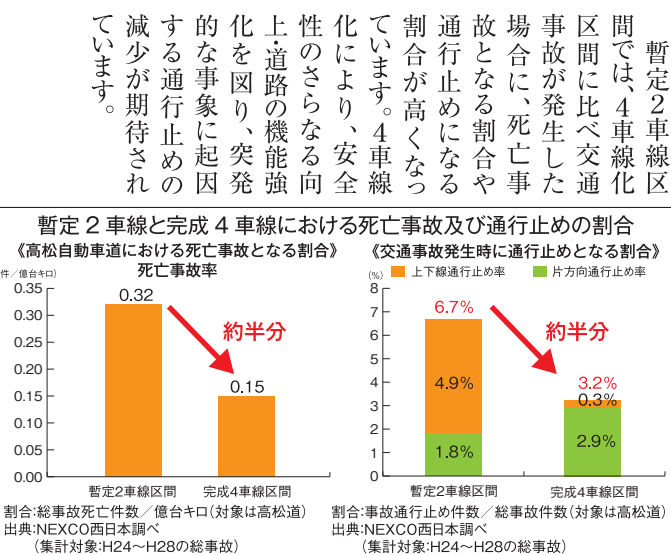
新しい高松自動車道が、東讃地域はもとより、香川・徳島の両県、ひいては四国の振興発展に大きな役割を果たすことを願っています。



平成31年3月8日、高松自動車道4車線化事業は7年間の期間を経て完成を迎えました。高松自動車道は平成15年の全通以来、交通量が約1.8倍に増加するなど沿線の交通を支える役割を果たしてきました。万、交通混雑の渋滞や交通事故などに伴う突発的な通行止めな

E11高松自動車道4車線化でますます安全・安心・快適になりました!

高松自動車道の歴史	
昭和47年6月	高松自動車道で最初の整備計画(善通寺市〜四国中央市)
昭和62年12月	善通寺IC〜三島川之江IC開通
平成4年4月	高松西IC〜善通寺IC開通
平成10年3月	坂出IC〜坂出JCT開通(本州・四国間が高速道路で直結)
平成13年3月	津田東IC〜さぬき三木IC開通
平成14年7月	板野IC〜津田東IC開通
平成15年3月	さぬき三木IC〜高松中央IC開通
平成14年7月	鳴門IC〜板野IC開通(関西・香川県間が高速道路で直結)
平成15年3月	高松中央IC〜高松西IC開通(高松自動車道が全線開通)
平成24年4月	鳴門IC〜三木町高松市境4車線化事業許可
平成31年3月8日	鳴門IC〜高松市境4車線化完成! (高松自動車道全線4車線化完成)



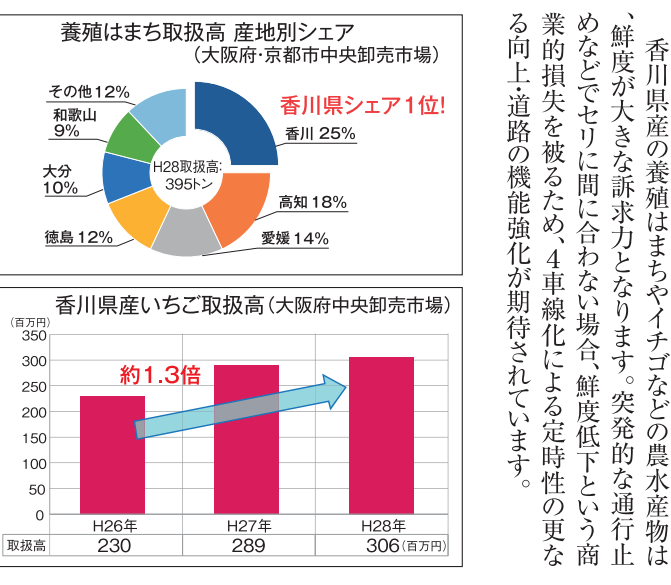
4車線化によるストック効果!

ストック効果：整備された社会資本が機能することで、継続的かつ中長期に得られる効果

①交通集中による渋滞の緩和

②安全性のさらなる向上

③リダンダンシー機能の強化



④定時性の向上による地域への貢献

香川県の養殖はまちやイチゴなどの農水産物は、鮮度が大きな訴求力となります。突発的な通行止めなどでセリに間に合わない場合、鮮度低下という商業的損失を被るため、4車線化による定時性の更なる向上・道路の機能強化が期待されています。

今後発生が予想されている南海トラフ地震による津波により、一般国道11号やJR高徳線での浸水被害が予測されています。(最高津波水位…さぬき市38m、東かがわ市30m)

災害発生時には、高松道が自衛隊等緊急車両の通行確保及び一般国道11号等の代替路として機能するため、4車線化による道路の機能強化により、さらなる信頼性の向上が期待されています。